

委員会名	平成 28 年度 第 3 回教育に関する事務の点検・評価委員会		
開催日時	2016 年 11 月 18 日（金）15:00～17:00	開催場所	豊島区庁舎 教育委員会室
出席者	<p>【教育に関する事務の点検・評価委員】 壺内委員長、工藤委員、和田委員</p> <p>【豊島区】 天貝教育部長、兒玉教育部参事、尾崎学校施設課長、木山学務課長、 加藤指導課長、鮫島教育センター長、齊藤統括指導主事、細山統括指導主事</p> <p>【事務局】 印部係長、中村係長、入澤係長、恵良、池田</p>		
資料	<p>1. 評価方法及び評価の視点</p> <p>2. 事業分析シート</p>		
傍聴人	0 人		
議事録作成者	庶務課学校 ICT グループ : 池田	作成日	2016 年 11 月 28 日（月）

発 言 者	発 言 内 容
壺内委員長	<p>ただ今から、第3回教育に関する事務の点検・評価委員会を開会いたします。</p>
工藤委員	<p>前回の視察について委員の皆様よりご意見、評価を頂きます。 まず、池袋本町小学校、池袋中学校の連携校からお願いいたします。</p>
壺内委員長 事務局	<p>池袋本町小学校と池袋中学校の視察をさせて頂きました。やはり出来上がったところでの緊張感を持ち、この施設で連携を成し遂げていくのかということで、それぞれの知恵とアイディアを出しながら、学校の運営に当たっているなという実感を持ちました。評価にあたってはどのような方法になりますでしょうか。</p>
壺内委員長 工藤委員	<p>事務局、評価の方法についてはどうでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">——— 【資料1】 説明 ———</p>
壺内委員長 工藤委員	<p>ありがとうございます。評価の方法について説明がありました。</p> <p>できあがった当初ということもあり、これからどうなるのかは一年が経過してみないことにはわからない部分もあるかと思えます。私としては一年が経過しての評価が一番適切かと思えます。ただ、小・中学校長等の連携が非常に良く取れている点は高く評価したいと思えます。また、施設の使い分けを今後工夫しなければいけない部分、特に図書館等は、どういった内容で使用していくのかが若干気になります。</p> <p>放課後子ども教室ですが、地域の皆様方と学校の連携を自主的な形で育てるといった意味合いが感じられました。小学校の中にも低学年、高学年がいる中でどの程度の率で子供の参加があるのかという質問をした際に、4年生ではっきり分かれ、それ以降は参加率が低くなるとのことでした。当然、子供の成長段階からしたらそうなるかなと思えますが、高学年でも参加できるようなものを考えられると良いと感じました。私としては評価Aで良いかと思えます。</p>
壺内委員長 和田委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>池袋中学校、池袋本町小学校、連携校の視察ですが、施設の面では本当にゆったりと造られていて、教室にも余裕がいくつもあり、慣れるまでは広すぎる感じも受けるのではと思えますが、素晴らしい施設が出来上がったと思えます。特に一階のつながりホールは、校庭、正門から近い場所にあり、利用方法によっては色々な活用ができると思えます。あの場所にあれだけの広さのホールを造られたというのは、素晴らしいと思えます。小学校一年生が校庭から教室に入れるといった面は、これから新しく改築する学校にも取り入れられていくと良いのかなと感じました。ソフト面では小・中学校の校長先生がうまく連携して素晴らしいスタートが出来たのではと思えます。堀校長先生からお話しがありましたが、「あこがれる中学生になれ。」と改築前から生徒たちに話されていたということですが、うまく実を結んだなと思えます。小学校の子供達が中学生ともっと連携したいと自分たちから提案していると中丸校長先生からもありました。素晴らしい</p>

スタートが切れて、良い施設が出来上がったと感じています。工藤委員の話にもありましたが、3年、5年と経っていくにしたがってどう変わっていくのが難しい所でも有り、期待している所でもあります。

もう一箇所の視察、放課後子ども教室ですが、地域の人が指導にあってくれるのは、地域の色々な年代の方とふれあうことができ、今回の茶道教室などは子供達にとって、良いコミュニケーションの場になるのではないかと感じました。みみずく学習室で、金曜日に東京ベーシックドリルを用いて復習をさせると説明がありました。これも素晴らしいと感じました。どこの学校でもこういった事業を進めているとの事ですが、やはり人材の確保が難しいのではないかと思います。ぜひ推進して頂きたいと、週に1回と言わず、できれば2回。豊島区は大学も多いので大学とも連携する等、色々な方法を考えて充実して貰えればと思います。以上となりますが、私も評価につきましてはAで良いかと思います。よろしく願いいたします。

壺内委員長

ありがとうございました。今後の期待を込めて高い評価を頂いたと思います。委員の一人として私からも感想を述べさせて頂きたいと思います。小・中学校連携型ということで、9年間の連続性を非常に良く考えており、小学校エリア、中学校エリア、プラス共有エリアと素晴らしい施設になっていると感じます。つながりホールと家庭科室がすぐ隣にあること、いたる所には緑も施されていて、防災の拠点、小・中学校の交流の拠点として絶好の場であると思います。一緒になった小・中学校の伝統と文化、代表的なものとして、玄関にあるステンドグラスのソメイヨシノと八重桜、柏のデザインを一つのシンボルとして、これから子供達が歴史と伝統を築いていくのかなとうれしく思っております。職員室に仕切りが無いこと、教員どうし小・中学校で互いの様子が見えることも、子供達同士、先生同士の校内の交流と地域の交流がうまく図れていると思います。これから色々な課題が生じてくるかと思いますが、素晴らしいスタートをきれたと思います。外部の人間から見ても非常に期待感が大きいです。ぜひ、教職員が心をつにして子供達に打ち込む雰囲気作りを事務局からも支援して頂ければと思います。施設は文句ありません。プール一つにしても小・中学生が使うことを考慮して床が上下する機能など充実した施設、子供達にとって余裕のある広い廊下やスペースなど今後の良い成果を期待して私も新校舎につきましては高い評価をさせていただきたいと思います。

次の南池袋小学校の放課後子ども教室ですが、豊島区全体でこれだけメニューが多いというのは、地域の皆さんの協力体制が非常に良くできているからと感じています。中、高学年もできるだけ参加できるように工夫、改善しながら進めて頂きたいと思います。また、事業開始から12年経つということですので、内容も充実していると思います。

工藤委員

学校施設課長に一つお伺いしたいことがあります。連携校の視察の際に防火扉と思われる場所に掲示物が貼ってありました。教職員が防火扉であることに気が付いていれば良いのですが、いかがでしょうか。

尾崎学校施設課長 壺内委員長	<p>早急に確認し、今一度徹底するようにいたします。</p> <p>ありがとうございます。では、視察につきましてはよろしいでしょうか。視察につきましては、部長をはじめ事務局の皆様方、ありがとうございました。</p> <p>それでは、最初の事業、小学校外国語活動の充実、幼・小・中の学びの連続性を重視したカリキュラムの作成についての分析シートの説明を指導課長よりお願いいたします。</p>
加藤指導課長 壺内委員長	<p style="text-align: center;">—— 【資料 2、5 ページの説明】 ——</p> <p>ありがとうございました。指導課長よりただ今説明がありました。豊島区も国際化に率先して取り組んでいて、小学校 1 年生から英語活動を展開しているとのことで、素晴らしいと感じております。委員の皆様、ご質問、感想などお願いいたします。</p>
和田委員 加藤指導課長	<p>A L T が終日学校に居るのは何日ほどあるのでしょうか。</p> <p>小学校では年間 3 5 時間設定してあります。設定してある日については終日学校にいる契約となっていますので、年間で最低 3 5 日間となっています。また、その他に 1 年生から 4 年生の英語活動の日もございますので、それをプラスした日数を 1 日単位で配置しております。</p>
和田委員	<p>3 5 時間ということは 3 5 日終日学校にいるということで理解してよろしいですね。</p>
加藤指導課長 和田委員	<p>はい。</p> <p>我々の時代からすると、外国の方と対面する機会自体があまり無かったと思います。コミュニケーションが子供の時からとれるという事は素晴らしいことだと思います。まず、気後れしないといったことから始めて、立教大学とのイングリッシュキャンプ等色々な企画もされていると、また子供達が成果を発表する事は素晴らしいことですので、もっと機会を増やして頂ければ自信に繋がるのではないかと思います。</p>
壺内委員長 工藤委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>A L T を導入したから英語が伸びるかといえば、基本的には思えない。意識調査などでは向上が見えるかと思いますが、いかに学級担任が意識を持つかが大事なのではないでしょうか。A L T が来た時だけではなく、間を埋めるのは学級担任等の役目だと思います。学級担任が計画的に英語活動の指導にあたると資料にもあります。指導課ではどのような研修を実施、また、効率性、有効性を高める為に学校と連携をしているのでしょうか。</p>
加藤指導課長	<p>現在、研修につきましては業者 I E S に委託しております。夏季休業中など時間の取れる時に、教員に対する英語研修を行っております。また、中学校の英語教員免許を持っている教員が小学校にも増えてきています。免許を持つ教員、東京都や文部科学省の授業改善リーダーを受講した教員を各学校や区の研修に呼んで実施しています。また、学級担任の英語能力を高めて行くことが課題と認識しております。子供達に対する英語活動はクラスルームイングリッシュといった、朝や帰りの挨拶を英語にするなど授業以外の活動も行っており、自然と英語が使えるよう、慣れ親しむ活動</p>

細山統括指導主事	<p>を続けています。</p> <p>ご指摘頂きましたとおり、ALTを入れたから問題ないかという訳ではなく、これまでも問題意識を持ってまいりました。ここ数年を見ますと、かなりALTまかせの英語活動は減ってきています。そういった意味では、担任がかなり意識を持ってきていると思います。理由としましては、区小研での英語部が4年前に立ち上がり、英語活動の研究を進めてきた成果が各学校に普及してきていることがございます。もう一点はオリンピック・パラリンピック教育が各学校に入ってきて、国際理解という視点で、発信力を高めていくことに意識を持ち始めていることがあります。また、区で進めております、豊島ふるさと学習プログラム、自分の住む地域を調べて、発信する、これを英語で行うこと。先日は南池袋小学校ではインドネシアの先生方にお越し頂いた際に、全学年が英語で交流しました。駒込小学校でも視察があった際に、6年生が英語でプレゼンをしました。子供達が英語で発信することについて、少しずつ必要性、場面が増えてきていますので、英語活動については更なる充実を図ってまいります。</p>
壺内委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ソフトの面での英語、生きた英語をと、いうことで、どのように取り組んでいるかをご説明頂きました。</p>
工藤委員	<p>32年から小学校で英語が教科になりますが、英語活動と教科の結びつきについては、指導課では既に検討に入っているのですが、とにかく楽しくの活動から、教科になってからのギャップについて難しい問題ではないかと思います。小学校の教員が通信等含めて英語の免許を取得する、指導課がそれをサポートするといった計画はありますでしょうか。</p>
加藤指導課長	<p>現在東京都において、今年度から小学校の全科の教員採用試験の他に、英語コースを作り教員を増やしていくところでございます。区内においては通信等含めて働きかけをしてまいります。また、英語の4つの観点、聞く、話す、書く、読む、について小学校では聞く、話す、を中心としています。今後、書く、読む、まで広がってきますので、東京都の方針を注視しながら取り組んでまいります。</p>
壺内委員長	<p>ありがとうございました。東京都でも教員免許、小学校での英語活動について考えていると、平成31年から幼稚園、32年から小学校、33年に中学校の完全実施に向けて、外国語活動が入るのは小学校3、4年生のところ、豊島区では先駆的に小学校1年生から取り組んでいて、23区の草分け的存在になっていくのかと感じました。大学と連携したイングリッシュキャンプも含めて、実践する条件が整っていると思いますので、ぜひ充実したものにして頂きたいと思います。</p>
和田委員	<p>では、有効性と効率性について、委員の皆様から評価を頂きたいのですが、いかがでしょうか。</p>
工藤委員	<p>評価はBで、課題もありますし、豊島区独自の教材開発を進めていただきたいと思います。</p> <p>効率性は、これからもっと検討されるのでしょうか。有効性は重要な部分</p>

壺内委員長	<p>だと思えます。効率性は今後を考えてBという判定。有効性はAと判断します。</p>
工藤委員	<p>ありがとうございます。有効性についてはAという判定、効率性については、効率良く執行されているかといいますと、現時点では上手く執行されていると私は思いますがいかがでしょう。</p>
壺内委員長	<p>よろしいかと思えます。</p> <p>では、この事業につきましては、効率性、有効性共に、Aということでよろしいでしょうか。</p>
工藤委員	<p>はい。</p>
和田委員	<p>はい。</p>
壺内委員長	<p>それでは、続きまして不登校対策、スクールソーシャルワーカーの充実について教育センター長よりご説明をお願いいたします。</p>
鮫島センター長	<p>—— 【資料2、9ページの説明】 ——</p>
壺内委員長	<p>教育センター長、ありがとうございました。委員の皆様、ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。</p>
工藤委員	<p>この度の横浜での事件ですが、どこの自治体でも似たケースが何かの場合に発生するのではないかと、日常的に接しながら教育活動を現場は行っていると思います。教育センターはそういった活動の後方支援を鋭意に実施していますが、間に合っていないとの現状報告がありました。ぜひこの事業については、人、物、金とかがかりますが、しっかりと進めていただきたいと思えます。私も常勤化については考えていく必要があると力強く思えます。また、登校支援シートに基づいて対応されていますが、このシートは転校といった際にも引き継がれていくと考えてよろしいでしょうか。</p>
鮫島センター長	<p>子供達を長い目で見て支援して行きたいと思っておりますので、登校支援シートにつきましては、区内であれば転校、進学時に必ず引き継がれます。しかしながら、他自治体に転校となった場合には、連携まで至っていません。</p>
工藤委員	<p>状況が解決した場合、個人情報取り扱いという視点で、シートの取り扱いはどうな管理をされていますでしょうか。</p>
鮫島センター長	<p>登校支援シートについては非常に慎重に取り扱っています。ダイヤル錠付きのバッグで学校とやりとりしています。センターにつきましても、鍵付きのキャビネットに保管をしています。</p>
和田委員	<p>今までケース会議などでSSWの参加がなかった頃は、少々心細い会議が多かった気がします。SSWが参加するようになり、校長先生も頼りにされて来ていると肌で感じています。件数もかなり多いですが、校長先生、学校によってSSWの申請件数はバラつきがあるのでしょうか。</p>
鮫島センター長	<p>平成24年度からこの制度は開始していますが、当初は事業に対する理解度が低かったため、申請件数も少なかったです。現状では、全小・中学校から様々な申請があがってきております。さらに今年度については、幼稚園2園から申請がありました。</p>

<p>和田委員 壺内委員長</p>	<p>ありがとうございます。本当に常勤化は進めて頂きたいと思います。 ありがとうございました。天貝部長、常勤化の見通しについてはいかがでしょうか。</p>
<p>天貝教育部長 壺内委員長</p>	<p>全国でも珍しいですが、1名常勤対応可能となりました。 明るい兆しといますか、やはり常勤で子供達の理解に優れた方でなければ、メンタル面は解決できないのではないかと思います。 SSWIについて学校は教育センターと緊密な連携をとりながら順調に進めていると感じました。 では、評価につきまして委員の皆様いかがでしょうか。</p>
<p>和田委員 工藤委員 壺内委員長</p>	<p>はい。 よろしいのではないのでしょうか。 ありがとうございます。高い評価を頂けたと思います。有効性、効率性共に、Aという評価でよろしいでしょうか。</p>
<p>工藤委員 和田委員 壺内委員長</p>	<p>はい。 はい。 ありがとうございました。 続きまして、3件目の事業ですが、通学路における防犯カメラについて学務課長よりご説明をお願いいたします。</p>
<p>木山学務課長 壺内委員長</p>	<p>—— 【資料2、17ページの説明】 —— はい。ありがとうございました。委員の皆様ご意見などありますでしょうか。</p>
<p>工藤委員</p>	<p>地域住民の個人的な情報を含め、警察との連携の仕方など、難しいと感じました。そういった状況も含めて、学務課で鋭意努力をしていると感じました。このカメラは24時間作動しているのでしょうか。</p>
<p>木山学務課長</p>	<p>はい。こちらは常時作動していきまして、一週間から10日程度のデータが保存されており、その後上書きされてデータは残らないです。</p>
<p>工藤委員</p>	<p>そうなりますと、通学路における児童の安全を確保するという事は、不審者等も含めまして、24時間、道路の安全を管理しているとの捉え方でよろしいでしょうか。</p>
<p>木山学務課長</p>	<p>おっしゃるとおりです。下校時間、暗くなるような時間帯、塾などで遅くなる児童もいますので、学校以外の子供達の活動範囲で不審者などの抑止力にもなると思います。</p>
<p>天貝教育部長</p>	<p>全ての通学路を防犯カメラで網羅することは不可能です。設置することによって、町会、地域で子供達を守るという意識を醸成していくことも大きな役割であります。町会が補助金を活用してカメラを設置する事業もごございます。それらとタイアップして進めているところもあります。地域全体で、通学路のどこに一番問題があるのかということを考える場として活用していきたいと思っております。</p>
<p>工藤委員</p>	<p>抑制力的な活動とのことですが、実際に何かが起きた時には即時性が必要かと思います。そういった際に最初に動くのは学校の教員ではないのでしょうか。学校にはこの情報は連携されるのでしょうか。</p>

木山学務課長	カメラには鍵がかかっていますので、学校が直接は取り出せません。学務課から業者に連絡をし、映像データの取り出しを依頼することになります。
工藤委員	では、学校では見られないので、子供達や地域からの情報によって動くということですね。ありがとうございました。
和田委員	今まで教育委員会が設置した防犯カメラで警察からの照会というのはどれ位あるのでしょうか。
木山学務課長	相当数あります。都度データを取り出すのにも費用がかかってしまいますので、警察が負担している自治体もありますので、今後負担のあり方について検討をしていく必要があります。
和田委員	今日、要小学校の学校運営連絡協議会がありました。町会、商店街、教育委員会で設置している箇所を地図に落とし込んでかぶることが無いように管理をお願いしたいと思います。千早地区の町会では5、6台のカメラを付ける計画があります。毎年増えていきますので、地図の作り替えも大変ですが、スピーディーに対応するためにお願いいたします。町会、教育委員会で設置したカメラの管理がそれぞれでは判り辛いと思います。一本化も検討して頂きたいと思います。
木山学務課長	町会、教育委員会、治安対策で設置しているカメラも、住所としては全部把握しております。地図で管理することは、今後新たに設置する際にも必要になると思います。
和田委員	住所では地図を開いて探す手間があると思います。町会など地元でも助かりますので、お願いいたします。
壺内委員長	ありがとうございました。先ほど教育部長からもお話しがありましたが、町会と協力、連携しながら小学校22校に設置ということで、使われない方が良いでしょうが、子供達の安心、安全を最優先に、設置箇所を明確にしながら進めて頂ければと考えております。
工藤委員	それでは、防犯カメラの設置につきまして評価をしたいと思いますが、いかがでしょうか。
和田委員	効率は、今後地図への落とし込みも含めましてB、有効性は当然、Aという判断になるかと思いますがいかがでしょうか。
壺内委員長	よろしいかと思えます。
壺内委員長	ありがとうございました。効率性につきましては、これから様々な課題の検討と、効率的な運用を研究して頂きたいのでB、有効性につきましては、当然Aということで評価をしたいと思えます。
児玉庶務課長	続きまして、放課後子ども教室、地域との連携とプログラムの充実について、庶務課長よりご説明をお願いいたします。
壺内委員長	—— 【資料2、21ページの説明】 —— ありがとうございました。子供達の放課後の事業ということで、前回、視察に参加させて頂きましたが、素晴らしい事業を実施されていると感じました。アンケート調査も実施して分析をしておりますが、委員の皆様からご質問等ございましたらお願いいたします。

和田委員	<p>コーディネーターによって教室の実施数が違ったり、逆にコーディネーターの負担になっていたりはあるのでしょうか。</p>
児玉庶務課長	<p>地域コーディネーター懇談会を年2回程度実施しております。皆様、非常に積極的に取り組んで頂いており、そういった差は無いと思います。民生児童委員を始め地域で活躍されている方がコーディネーターになっておりますので、皆様素晴らしい方ばかりです。ただ、指導員となる方々を探すのが大変です。地域によってはそこに差があるかと思えます。人材確保が苦慮しているところであります。</p>
和田委員	<p>事業が教育委員会に移るといことですが、スキップ南池袋コーディネーターも主任児童委員をされており、子供の問題で教育センターとも関係が深いと思います。そういった方がコーディネーターになっていることを考えましても、教育委員会が主管になった方が自然だと思います。</p> <p>授業中とは違った面、スキップの中でも子供の様子も色々あるでしょう。その中に民生委員が地域コーディネーターとして入り、子供の様子を見て学校とソフトの面でも連携を取れる。スキップ所長を始め職員の方も一生懸命見てはいるのですが、地域の人が変わった視点から見て連携をとっている事など、そういった面でも豊島区独自の事業になってきているかと思えます。</p>
児玉庶務課長	<p>貴重なご意見でありまして、実は地域コーディネーターの方からも、放課後の子どもスキップの様子からも、家庭の異変に気づくことがあるそうです。そういった情報をどこに相談すれば良いのかといったご意見も頂いております。やはり情報共有も幅広くスムーズに行えますので、教育委員会に事業が来ることは施設の有効活用といった面からもメリットが多いと思えます。</p>
和田委員	<p>池袋本町小学校の子どもスキップを視察した際に、もう少し大きく整備をすれば良かったのではと思いました。以上です。</p>
壺内委員長	<p>ありがとうございました。では、工藤委員お願いいたします。</p>
工藤委員	<p>中央教育審議会でも言われていますが、教育は学校一つでなく様々な方々と連携しながら、それぞれの力、特性を生かすチーム学校と大きく打ち出されています。豊島区が新たに作ったこの形は、まさにそれに即していくと受け止めております。さすが先を読み取る豊島区だなと思いました。</p> <p>課題に学校施設を有効に活用できないとあります。この場合の施設管理責任者とはどちらになりますでしょうか。</p>
児玉庶務課長	<p>子どもスキップの管理責任者は区長部局の子ども課になります。トータルで見た時に最終的には学校の責任になりますが、現在は放課後、スキップ、学校と分かれております。</p>
工藤委員	<p>一本化になった際には、学校の管理責任下に入るのでしょうか。</p>
児玉庶務課長	<p>はい。入ります。</p>
工藤委員	<p>100の内、99が良くて1が駄目だった時、全てが崩れてしまうのが事故です。この事業でもかなり運動するプログラムがありますが、子供に関するケガ、事故など庶務課で苦慮したという事例はございますか。</p>

<p>児玉庶務課長</p>	<p>放課後ですので実際にケガがあった時に、先生方がおらず連携がすぐに取れなかった事がございました。</p> <p>現在の体制では、課を越えることとなりますので難しいのですが、一本化した際には、子どもスキップの職員も教育委員会事務局の所属になります。学校と定期的な会議での情報共有など、今まで以上に連携をしていくことができます。</p>
<p>工藤委員</p>	<p>学校の教員は現在でもかなりの多忙感があると思います。子どもスキップが教育委員会に移管したことについて、会議だけが増えたとならないように学校と管理職に認識をさせていって頂ければ、この事業がより良いものになっていくと思います。また、校長、副校長が管理責任者の一環として最後まで居なければならぬとなってしまうと、かなりの圧がかかると思います。そういった辺りを教育委員会が、学校とコーディネート制度をどのように融合させていくのか。コーディネーターやスタッフがどういった権限を持っているのか、権限の移譲等も含めて今後検討して頂き、ただ人を集めて事業を行っていただくだけではなく、そちらの側面も考えて制度を改革していかなければ長く続いていかないのではと感じます。</p>
<p>天貝教育部長</p>	<p>確かに学校内で起きた問題について、施設面での管理瑕疵については学校長もしくは設置者の責任になります。子どもスキップ事業の中で起きた問題は今の体制では子ども課長となり、学校長には及ばないような形にしなければ中々上手くいかなと思います。移管にあたって子ども家庭部で10数年実施してきたスキップ事業の課題や良い所を洗い出しております。</p> <p>良い所は継承しつつ、子どもスキップを実際に行っているところが教育財産ではないといった事務上でもおかしなところは正していきたいと思っております。</p>
<p>壺内委員長</p>	<p>教育部長、ありがとうございました。</p> <p>今、事故が起きた時のどうするかといった問題、特にスポーツ関係では事故が起きた時の病院の受診、保護者への連絡など所管、責任をうまくして行かなければならないと思います。地域、保護者の方にとっても非常に良い事業だと思いますので、学校の負担も考え、連携しながら進めていただきたいと思います。</p>
<p>工藤委員 和田委員 壺内委員長</p>	<p>それでは、評価に移りたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>Aで良いのではないのでしょうか。</p> <p>よろしいのではないのでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。では、効率性、有効性共にAという評価を委員の皆様から頂きました。</p> <p>続きまして学校施設環境改善交付金対象事業につきまして、学校施設課長からご説明をお願いいたします。</p>
<p>尾崎学校施設課長 壺内委員長 和田委員</p>	<p style="text-align: center;">—— 【資料2、31ページの説明】 ——</p> <p>ありがとうございました。委員の皆様からご意見等頂きたいと思います。</p> <p>新しく綺麗になることは素晴らしいと事だと思えます。以前、当委員会では明豊中学校などの改築を点検した際に、新築校とそうでない学校で同じ区</p>

<p>尾崎学校施設課長</p>	<p>民で格差があるのではないか、区民からそういった声はないでしょうかといった意見が出ました。その際にトイレの改修を行った東海大の付属高校では、保護者に喜ばれた上、受験倍率も上がったとの話がありました。それで豊島区でも改築の時期が遅い学校はトイレを改修していきましようといった意見があり、議会を通じてトイレの改修が進み始めたという経緯があります。トイレ改修も進みましたが、やはり格差については声が出ております。予算的な問題もありますが、改築が延びてしまった学校もありますので、もう少し配慮を頂ければと区民の立場としては思います。この事業自体は素晴らしいと思っております。</p> <p>トイレにつきましては当初10年をかける計画でしたが、3年間で全校を改修するように早めました。今後の改修については洋式化だけでなく、ウォッシュレット化も進めてまいります。</p> <p>他には、救援センターとなる体育館の冷暖房化も検討しております。改築対象校ではない学校でも、老朽化について指摘を受けておりますが、まずは出来るところから良くしていく努力を進めてまいります。</p>
<p>壺内委員長 工藤委員</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>連携校で視察をした際に、プロジェクタについて校長先生が仰っていました。プロジェクタを使用すると黒板の半分が板書できないとの事でした。また、池袋第三小学校についても同じような整備に見えますがいかがでしょうか。</p>
<p>尾崎学校施設課長</p>	<p>プロジェクタにつきましては、目白小学校でも同様の整備をしております。現在整備した環境ではプロジェクタを使用する際、黒板の1/3がスクリーンになりますが、特に使い辛いといった声はありませんでした。現在設置済みの物について変更することは難しいです。今後の改築につきましては、ご意見も含めましてあらためて検討してまいります。</p>
<p>工藤委員</p>	<p>設計者にしても当然良いものを造りたいと思っています。実際に使ってみて、使っている人がどのように感じているかの意見は、財産として次の計画に反映しなければ意味が無いかと思えます。学校施設課でもしっかりと把握しながら、次の設計の時にはおまかせにせず、学校の内容を良くしていくための設備だと思えますので、ぜひ今後配慮をして頂きたいと思えます。</p>
<p>尾崎学校施設課長</p>	<p>視察の際に学校から指摘された武道場のカーテンにつきましては、近々改修されるように対応をとりました。</p>
<p>壺内委員長 和田委員 工藤委員 壺内委員長</p>	<p>ありがとうございました。では評価に入りたいと思えますがいかがでしょうか。</p> <p>Aが良いと思います。</p> <p>よろしいです。</p> <p>両委員より、どちらもAとの評価を頂きました。よろしく願います。</p> <p>それでは全ての事業の評価が終了しましたので、これで審議を終了したいと思えます。</p>

<p>兒玉庶務課長</p>	<p>最後となりますが、次回の日程を事務局よりお願いいたします。</p> <p>はい。次回ですが12月16日、金曜日の10時30分から1時間程度を予定しております。本日頂きましたご意見、評価を事務局で報告書としてまとめましてご確認をしていただきます。事務局からは以上となります。よろしくお願いいたします。</p>
<p>壺内委員長</p>	<p>では、以上を持ちまして第3回教育に関する事務の点検・評価委員会を閉会いたします。ありがとうございました。</p>